

月面探査車の操縦体験

関西高 生徒ら 開発企業社長講演も

関西高（岡山市北区西崎本町）で21日、月

面探査車開発を進める

ベンチャー企業の社長

を招き、ワークショップ

が開かれた。

関西高と玉野高（玉

野市）の1、2年生約

90人が教室とオンライン

で参加した。

米航空宇宙局（NASA）

のプロジェクト

参加を目指して超小型

月面探査車を開発して

いるダイモン（東京）

の中島紳一郎社長が講

師を務め、100回以

上改良を重ねた開発の

舞台裏などを披露。手

軽に部品を試作できる

3Dプリンターの登場

などにより「宇宙開発

はやりたい人がやれる

時代になった」と夢を

関西高2年平石廉太

郎さん(16)は「思い通

り動かせた。探査車を

使い、月で新しい発見

をし、月面をイメージし

た砂の上で動かして探

査の雰囲気を感じた。

ワークショップは、

倉敷市で新事業創出を

目指す一般社団法人M

ASCが高校生に宇宙

や科学に関心をもって

もらおうと企画した。

（藤本梨那）



月面探査車の操縦を体験する高校生

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。